

鉄道を生かしたまちづくりを学ぶ

新幹線・公共交通対策特別委員会の視察で

10日11日と、新幹線・公共交通対策特別委員会の視察で、佐久市、小諸市、上田市、千曲市を訪問しました。

二日間の視察で五ヶ所も訪問したのは、上越市議会では新記録のようです。「ハードな日程だった」という声とともに、「濃い密度で良い勉強になった」との声もあり、企画したものとしては、「良かったかな」という思いです。

元気を取り戻した佐久市の商店街

10日。新幹線佐久平駅の周辺整備にばかり目が行く佐久市ですが、大型店集積で佐久市内の中込や岩村田など既存商店街が

どんな変化をして
いるか、
小諸の相生商店街
がどう
なったか
を学ぶ
とが目的
です。

中込商



劔岳 10月6日

店街の空き店舗を改造した集会施設で、商店会の会長の話を聞きました。「よくがんばっているなあ」というのが、第一印象です。村上市の商人会 あきんどかいの活動がダブって見えました。

「反面教師」に、小諸市の課長

小諸市役所では、「マイナスイメージの視察が多い。反面教師として活用していただきたい」という担当課長の最初の言葉がたいへん印象に残りました。小諸城址である懐古園と大手門の間に旧信越線Ⅱ現しなの鉄道が走り、懐古園に人が来ても街には来ないという構造上の問題もあるようです。それでも「鉄道を生かしたまちづくり」に一生懸命なのが伝わってきました。

努力が報われた「しなの鉄道」

11日はまず、しなの鉄道本社で現状を聞きました。いろいろな努力の結果、「上向き」ではあるようですが、問題も多そうです。長野県の方針が定まっていなので「視察案内」に、「新幹線長野以北のことは質問しないように」と書いておい

たのですが、堂々と質問する議員がいて、冷や汗が出ました。

観光と地元の足、上田電鉄

上田市役所では、「上田電鉄を活用したまちづくり」について聞きました。別所温泉まで行っている路線です。廃線の危機を乗り越え、地域の足として、地域住民自身が存続に立ち上がっている話が印象的でした。

千曲市のコミュニティバス

千曲市は、合併問題で更埴市の時代に訪問したことがありました。バス路線が一つもないというのも驚きでしたが、それならと市営のコミュニティバスがたくさん走っているのにも驚きでした。

一方、新幹線新駅誘致というのは、どう考えても無理だなと思いましたが、他の議員もそう思ったようです。

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2007年10月21日 No.162
発行・杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832